

● 7月8日（火） 晴 ニセイカウシュッペ山（1879m）

○ 朝 4 時半起床。天気は良さそうだ。支度をしてすぐ出発。愛別から 39 号線を東へ、上川町で左に折れて 273 号線に入り東へ走る。中越で「ニセイカウシュッペ山 13.3km」という立派な標識がある林道に入り南下する。この山は最近人気がある山らしく、立派な道標が立っていた。未舗装の道ではあるが、昨日のピヤシリ山の林道と違って、かなり良く整備された林道を快調に飛ばす。と思ったら数キロ走った所に立派なゲートがあり、しっかりと施錠されている。昨日のピヤシリ山の林道は鍵が掛っていなかったもので、今日も開いているだろうと甘く考えていた。鍵の番号を聞いておかなかった。昨日は下川町の森林管理署、今日は上川町の森林管理署で鍵の番号が違う。今 6 時 15 分、快晴。管理署に電話しても誰も出ない。せっかく早く出てきたのにどうしようもない！ 人気のある山らしいから待っていたら誰か来るだろうと、ゲートの前で朝飯を食べながら待つことにした。朝飯を食い終わっても車の気配は全く無い。7 時になったので管理署へ電話してみたら、なんと出た！ところが「担当の者が 8 時半に出てくるから、8 時半以降にもう一度電話をしてくれ」と。やれやれ 8 時半までゲートを通れないのか、持久戦だ！ と 7 時 15 分に車が目の前を通過した。あわててクラクションを鳴らして止まってもらった。福井ナンバーの車だが北海道の人らしい。「ニセイに登るのですか？」「はい」「鍵番号は？」「1273」。と云って鍵を開けゲートを開いてくれた。「あとは私が閉めて行きますから」と云って先に行ってもらった。



林道入口に立派な道標が



ゲートがしっかり閉まっている



登山口駐車場



ニセイカウシュッペ山登山口

助かった！ 1 時間待ちで無事ゲートを通過出来た。「1273」で本当に鍵が開閉できるか確認してから、林道の残り 10km 弱をぶっ飛ばしどん詰まりの駐車場に 8 時前に到着した。かなり広いスペースがあり 10 数台は駐車できそうだ。先ほどの車の人はさっさと支度して登って行った。私はゆっくりと支度して 8 時に出発した。山頂まで 5.5km と書いてある。



オオバミソホオズキ

・北海道の山はどこでも同じだが、だらだらと続く長い草つきのアプローチをのんびりと歩く。道はしっかりと整備され道標も要所要所に設置されている。道の両側の草付きには花がいっぱいだ。まずオオバミソホオズキが黄色い花をいっぱいつけて迎えてくれ、それに続いてズダヤクシュ、マイズルソウ、ゴゼンタチバナ、シラネアオイなどが、さらにミツバオウレンとエゾイチゲの白くて可憐な花が両側に延々と続いて咲いている。花の回廊だ。



ミツバオウレンとエゾイチゲの花の回廊



道標はしっかりしていた

キンポウゲ、カラマツソウ、エゾコザクラ、ウコンウツギ、ハクサンチドリ、ヨツバシオガマ、チシマヒョウタンボク、ツバメオモト、クワガタソウなどいろいろな花が次々に出て来てなにしろ花が多い。写真を撮るのが忙しくて時間が経つのを忘れてしまう。やっと見晴台へついて景色を見ながら一休み。行く先に大槍、小槍の鋭鋒が聳える。



見晴台



目の前に大槍
遠くに小槍が

振り返れば大雪の山々が見渡せるはずだが、花の写真を撮っているうちに雲が出て来て展望が効かなくなり、雲の切れ目に雪渓に

覆われ大雪らしい山並みがちらっと見えた。



雲の切れ間に大雪山？



大槍の巻き道はお花畑

大槍の北側を巻いて通るが、ここがまた素晴らしいお花畑だ。チシマキンバイソウ、アオノツガザクラ、エゾノツガザクラ、エゾノハクサンイチゲ、チングルマ、エゾコザクラ、タカネシオガマ、エゾノタカネスミシなどなど書き切れないどの花が今が誇りと咲き競っている。「鍵番号を教えてくれたおじさん」が下ってくるのとすれ違い、「花が多くて良い山ですね」「ちょうど花の時期で、良い時に来ましたね」と云われた。

・コースタイムを大幅に遅れて、山頂に着いたのは11時過ぎていた。下は晴れていたのに、山頂は雲がかかって視界がなく、時折雲の切れ目から陽が射す程度で少々肌寒い。



・おじさんの二人連れが登ってきたので、山頂を二人に譲って下山を始め、見晴台近くまで下った見晴らしの良い所で、岩陰に風を避けて昼食をとった。日が陰ると風が寒い。下り道もいっぱいの花々に目を引かれ、写真を撮りながらだが、それでも下りは早い。13時過ぎに登山口に到着した。ここまで下ると空も晴れ、太陽の日差しが暑い。福井ナンバーの車はもういないが、札幌ナンバーの車が1台止まっていた。たぶん山頂であった男性2人組だろう。ということは今日入山したのはたったの3パーティー。ゲートで待っていても誰も来ない日もあるかもしれない。7時過ぎに福井ナンバーの車が来たのは実にラッキーだったとあらためて思った。



・ダートの林道を10数キロ、途中のゲートも番号1273で無事開閉し、国道273号線に出、当麻のヘルシーシャトーを目指した。今日も当麻泊にした。毎年2~3泊はするお気に入りの場所だ。



・当麻の駐車場には昨日と違って泊まりそうな車は一台も見当たらない。昨日と同じ所に車を止め、まず汗だらけの下着を洗濯して干して風呂へ。今日の疲れを温泉でゆっくりと癒した。セイコーマートで買ってきたいろいろなおつまみで飲むビールが旨い。北九州・若松のおじさんのホームーが帰って来てまた隣に止まった。帯広の知り合いのところへ行って来たという。

・今日のニセイカウシュッペ山は、雲が多くて視界は無かったが、花が多くて静かな良い山だった。ビールに快く酔い、今日出会ったいろいろな花を思い浮かべながら眠りについた。